

特殊詐欺はあなたを狙っている！

オレオレ詐欺をはじめとする特殊詐欺は、一部の高齢者だけが騙されるものではなく、他にも様々な手口を使ってあなたを狙っています。被害に遭われた方は「まさか自分がだまされるとは思わなかった。」と皆さん口をそろえておっしゃいます。

今回は、最近起こった特殊詐欺の例を紹介するので、事例に当てはまるような電話やメールを受けた場合は必ず親戚や身近な人、警察等に相談して被害に遭わないよう注意しましょう。

● こんなケースにご注意！

① 老人ホームの優先入居権を譲って欲しい詐欺（被害額 約 500 万円）

不動産業を名乗る男から「介護付き老人ホームの優先入居権が当選した。その権利を欲しい方がいるので売って欲しい。」と電話が掛かってきた。同居している親は健康で入居の必要がなく、欲しい人がいるならと承諾した。数日後に自宅へ弁護士を名乗る男がやって来て「あなたが行った権利を譲る行為は犯罪に当たる。逮捕されないためには示談金が必要。」と告げられ、現金を支払ってしまった。

② 独身者を狙った国際ロマンス詐欺（被害額 約 200 万円）

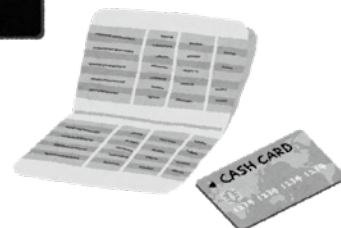
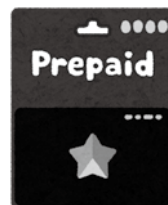
米国軍人という男から SNS の友達申請が来たので承諾し、メッセージのやりとりを通じて親しくなった。数か月後「除隊したら日本で一緒に暮らしたい」「退職金と勲章などの荷物を誰かに受け取ってもらわなければならないが空輸すると運賃がかかる。その費用を立て替えてほしい。」などと持ち掛けられ、荷物の配送保証料の負担名目で現金を指定口座に振り込んでしまった。

③ 実在しない団体を語り親族の債務を語る詐欺（被害額 約 900 万円）

実在しない団体「仮想通貨取引所」職員を名乗る男から「息子さんが法人税を滞納している。直ちに支払うようにしてください。」と督促の電話が掛かってきた。対応方法を聞くと弁護士が代理で納めるとのことだったので待ち合わせをし、自宅付近の路上で弁護士事務所職員を名乗る女に現金を手渡した。

● 電話やメールの内容が以下の項目に当てはまったら疑いましょう！

- ・ 弁護士（警察官）がお金を受け取りに行く。
- ・ 安全だから名義を貸して欲しい。
- ・ あなたの口座が悪用されている。
- ・ 受け取るには保証料金の先払いが必要。
- ・ 今使っているキャッシュカードは使えなくなります。
- ・ 金融庁（銀行）職員が自宅にキャッシュカードを封印しに行く。
- ・ レターパック（宅配便）にお金を入れてポストに投函して。
- ・ ギフトカードをコンビニで購入して番号の写真を送って欲しい。
- ・ マイナポイントをもっとお得にする方法を教えます。



不審者や不審車両を見かけたら
警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！
苫小牧警察署 ☎ 0144 ㊟ 0110 追分駐在所 ☎ ㊟ 2003
安平駐在所 ☎ ㊟ 2339 早来駐在所 ☎ ㊟ 2030
遠浅駐在所 ☎ ㊟ 2211 役場総務課 ☎ ㊟ 2511